

令和4年4月21日

## 「福島市古関裕而作曲コンクール」を新たに創設 ～福島市が誇る大作曲家・古関裕而氏につづけ！～

古関裕而氏の功績を継承し、将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたくきっかけを創出するため、新たに「古関裕而作曲コンクール」を創設します。

記念すべき第一回コンクールを下記により開催しますので、未来の作曲家を目指す皆様、ぜひご応募ください。

### 記

1. 募集作品／「吹奏楽」（未発表の作品に限る）演奏所要時間は4～8分程度内
2. 募集期間／令和4年5月9日（月）～8月31日（水）
3. 応募資格／日本国籍を有する方、または日本在住の方（年齢制限なし）
4. 応募方法／手書きまたはコンピュータにより楽譜を作成し、印刷譜（※1）2部とデータ（※2）を提出  
（※1）A3判もしくはB4判程度の読みやすい大きさにて製本  
（※2）CD-R、SDカード、USBメモリ等により提出
5. 参加料／一曲につき5,000円
6. 審査委員／委員長：池辺晋一郎氏（作曲家）  
委員：天野正道氏、伊藤康英氏、長生淳氏、渡辺俊幸氏（作曲家）  
※審査委員プロフィールは別紙参照
7. 審査日程／譜面審査：9月初旬～10月10日（月）  
本選作品発表：10月14日（金） 上位8曲程度選出  
本選：11月27日（日） ふくしん夢の音楽堂 大ホール  
指揮 飯森範親、演奏 シエナ・ウインド・オーケストラの公開演奏により審査し、当日表彰を行う。
8. 表彰／第一位 ・賞金総額50万円（特別協賛による賞金含む）  
並びに福島市長賞（トロフィー）  
・副賞として福島市産のフルーツギフト（1年分）を贈呈  
・出版会社より表彰作品を出版  
第二位 ・賞金20万円  
第三位 ・賞金10万円  
エール賞 ・賞状及び盾
9. その他／応募方法等の詳細については、4月26日（火）公表予定の募集要項においてお知らせいたします。



担当：文化振興課 文化振興係  
課長 須藤 課長補佐 菅野  
電話 024-525-3785（直通）

## 【審査委員プロフィール】

### ○池辺 晋一郎 氏 (いけば しんいちろう) (審査委員長)

1943年水戸市生。71年東京芸大大学院修了。66年日本音楽コンクール1位。同年音楽之友社室内楽作曲懸賞1位。68年音楽之友社作曲賞。以後ザルツブルクTVオペラ祭優秀賞、イタリア放送協会賞3度、国際エミー賞、芸術祭優秀賞4度、尾高賞3度、毎日映画コンクール音楽賞3度、日本アカデミー賞優秀音楽賞9度受賞。04年、紫綬褒章を受章。18年、文化功労者として顕彰される。主要作品：交響曲 No.1~10、オペラ「てかがみ」「高野聖」他。映画「影武者」「劔岳・点の記」「信虎」、TV「滯つくし」「元禄繚乱」他。演劇音楽は約500本を担当。著書多数。

現在、東京音楽大学名誉教授、東京オペラシティ・ミュージックディレクター、石川県立音楽堂洋楽監督、姫路市文化国際交流財団芸術監督、せたがや文化財団音楽監督をつとめる。09年3月まで13年間NHK-TV「N響アワー」出演。

### ○天野 正道 氏 (あまの まさみち)

吹奏楽をはじめ、映画・テレビ・アニメなどの映像音楽、現代音楽、歌謡曲、ジャズ、演歌、などジャンルを超えて精力的に活動する音楽家。国内外の著名なミュージシャンへの楽曲提供や共演も多く、現在は中欧を拠点にオーケストラや吹奏楽団で指揮を執る。国立音楽大学作曲科首席卒業、同大学大学院作曲科創作専攻を首席修了。2000年(第23回)、2001年(第24回)日本アカデミー賞音楽部門優秀賞を2年連続受賞。吹奏楽では、2000年(第10回)日本吹奏楽学会アカデミー賞受賞(作・編曲部門)。故岩井直博氏の後を継ぎニューサウンズインブラス2015、2016の編曲・指揮を担当するなど、吹奏楽に多大なる功績を挙げている。

### ○伊藤 康英 氏 (いとう やすひで)

作曲家。交響詩《ぐるりよぎ》は、吹奏楽の世界的レパートリーとして知られ、これまでに100作以上の吹奏楽作品を発表。オペラ《ミスター・シンデレラ》は、2001年の初演以来たびたび再演を重ね、「オペラというジャンルを知悉した」と評された。

一方、東京佼成ウインドオーケストラなど多くの吹奏楽団を指揮、これまでに海外での指揮活動を繰り広げる。ピアニストとしても、特に声楽の伴奏者として多くの歌手をサポート。教育の分野でも高校の音楽教科書の執筆を行うなど、幅広い活動を繰り広げる。

東京藝術大学作曲科、同大学院修了ののち、同大学非常勤講師を長らく務め、現在、洗足学園音楽大学教授、尚美ディプロマコース、桐朋学園大学各非常勤講師。

日本音楽コンクール作曲部門入賞、静岡県音楽コンクール・ピアノ部門優勝、日本管打・吹奏楽学会アカデミー賞を二度受賞。奏楽堂日本歌曲コンクール優秀共演者賞。

静岡県浜松市出身。浜松ゆかりの芸術家顕彰、浜松市やらまいか大使。

イトーミュージックや音楽之友社はじめ国内外の出版社で作品が出版されている。

### ○長生 淳 氏 (ながお じゅん)

1964年3月1日茨城県生まれ。東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修士課程修了。作曲を永富正之・野田暉行両氏に師事。第2回日仏現代音楽作曲コンクール特別賞受賞。第54回日本音楽コンクール作曲部門1位なしの第2位入賞。現音第4回新人賞および第57回日本音楽コンクール作曲部門入選。2000年度武満徹作曲賞、(財)日本交響楽振興財団第24回作曲賞、第16回日本管打・吹奏楽アカデミー賞(作編曲部門)受賞。全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第1位入賞。現在東邦音楽大学非常勤講師。

おもな作品には《交響曲》《翠風の光》《楓葉の舞》《久堅の幹》《輝く若葉》《夢の通い路》《夏-朱い忘却》《春-青い泡影》《Prime-Climb-Drive》など。

### ○渡辺 俊幸 氏 (わたなべ としゆき)

愛知県名古屋市出身。青山学院大学入学と同時にフォークグループ「赤い鳥」のドラマーとしてプロ活動に入る。「グレープ」のサポートミュージシャンを経て、さだまさし氏のミュージカルプロデューサー及びアレンジャーとして活躍。79年渡米後、バークリー音楽院にてクラシック及びジャズのコンテンポラリーな作編曲技法を、ボストンコンサーバトリーにて指揮法を学ぶ。又、LAにてハリウッドスタイルのオーケストレーションと映画の為の作曲技法を学ぶ。帰国後、作曲家として数々の映画、テレビドラマ、アニメーション等の音楽を担当。また、2003年8月よりオーケストラ・アンサンブル金沢のポップスディレクターに就任し、指揮者としての活動も始める。洗足学園音楽大学 音楽・音響デザイン学科 客員教授。